

## 平成21年度研修会内容(農大編)

- 場 所 北海道立農業大学校
- 時 期 平成21年11月19日(木)～20日(金)1泊2日
- 参加者 10名
- 研修内容

### ～講演～

#### 「地域を支える女性農業者活動」



講師  
道立上川農業試験場  
技術普及部  
主任普及指導員  
島 恵子 氏

- ・女性の活動が農村を活性化させている事例  
地域を支える女性農業者の活動  
女性の感性や特性を活かした活動  
若い妻の地域活力(情報交換や新規作物への挑戦)自家農産物の加工品づくり  
落花生栽培から地域を活性化した活動
- ・認定農業者の夫婦・親子など共同申請例

### ～講演～

#### 「女性パワーを活かす法人経営」



講師  
道立中央農業試験場  
技術普及部長  
内山 誠一 氏

- ・経営の分業化が経営に及ぼす影響について
- ・青年・パートさん方の不満は何か
- ・家族経営農家とサラリーマン家族の違い
- ・組織は人がつくる話
- ・農業生産法人で何をねらうか
- ・女性の力を活かす農業生産法人の事例
- ・経営継承は法人での方法について紹介

### ～講演～

#### 「女性農業者の役割」



講師  
北海道指導農業士  
(本別町)  
小笠原 良美 氏

- ・自身の人生観を多く語り頂き若い研修生に示唆を頂いた
- ・指導農業士の資格やJA女性部部長を長年やり多くの人との出会いがあり、自分の生き方に自信をくれた
- ・女だからと言われるのがイヤ
- ・夫の人生観を共有するのが私の人生
- ・天気の良い日に休む。休日を大切にしている
- ・他人が訪問してくれる家庭
- ・娘夫婦へ経営を移譲
- ・どう生きていくか多くの方に伝えたい

### ～事例報告1・2～



報告者 浜中町  
二瓶 晴子 氏



報告者 北見市  
角田 みゆき 氏

- ・女性農業後継者の先輩で結婚されているお二人より、家族構成と経営内での役割、就農から結婚までの経過などの体験を発表して頂き、参加者と意見交換
- ・親が実施してきた経営方針と自分たちの経営方針、地域行事への参画、親と夫の間での自分の立ち位置などの意見を交換

### ～講演～ 「私の農業、昨日、今日、明日」

講師 北海道指導農業士(浦幌町) 松田 泰一 氏



30才で農業を始めて21年の体験を通して、経営者としての農業観、生活観について示唆に富んだ講演を頂いた。

農業をしながら常に心がけていることとして、作物栽培では畑の観察、仲間との情報交換、適期作業、土づくり。経営感覚の研鑽。日々のくらしでは、働く、休む、遊ぶのメリハリのある生活。何よりも家族が仲良く、健康が一番。農家または我が家にしかできない楽しみを見つけること！

## 平成21年度研修内容(花・野菜センター編)

- 場 所 北海道立花・野菜技術センター
- 時 期 平成22年1月21日(木)～22日(金)1泊2日
- 参加者 6名
- 研修内容

### ～講演～

#### 「女性の知恵とパワーを活かす法人経営」 ～法人経営で農業と生活を切り替える～



講師  
空知農業改良普及センター 主任普及指導員 長船 健雄 氏

- ・家族経営の弱み・強み
- ・組織は人の集まり
- ・農業生産法人で何をねらう
- ・農業生産法人とは
- ・女性の力を活かす農業生産法人
- ・農業生産法人を設立するには
- ・発想を豊かにする。目標の実現に向けて、目を使う・耳を使う・手を使う・口を使う

### ～講演～

#### 「女性農業者の役割」 ～女性農業者が支える農業に希望を託して～



講師  
北海道指導農業士(砂川市) 奥山 一枝 氏

- ・夫と2人で、水稻+野菜・畑作経営。
- ・子供達は独立していたが、Uターン就農。
- ・ハウスを増棟し施設野菜を主体にした経営を展開。後継者夫婦がパートナーと共に経営の目標を考え、支え合うことが大事。
- ・農村は、母さん達の知恵とアイデアで支えられている。女性にはどんどん勉強して誇りを持って取り組んで下さい。

### ～事例報告～



報告者  
名寄市 竹部 麻理 氏

- ・3姉妹の長女。両親は新規に就農を開始。父母の苦勞を見て、迷いなく就農を決心。
- ・30才位まで4HCなどの活動に積極的に参加。お見合いは5～6回、苦痛になっていた頃、同市に農業研修に来ていた夫に出会い結婚。H18に親から経営移譲。これまで漠然としていたことを反省。2人が考える農業経営を形にしていきたい!

### ～講演～

#### 「農業経営者としての戦略」



講師  
北海道指導農業士(浦臼町) 小野 剛 氏

- ・人生における必要経費を予め知っておく。家族みんなで我が家の経済を共有。
- ・営農のポイント～現状分析により営農計画たてる。毎月の出費確認。無駄を省く。農業機械の効率的な利用。補助事業の有効活用。後継者への円滑な経営移譲を準備

### ～交流会～



交流会は、農大短期研修生と一緒に、和気あいあいとした雰囲気の中で行われた。

自己紹介をはじめ、就農のきっかけや経営状況、夢や目標などをざっくばらんに語り合い、その実現に向かって頑張ろうという思いで、みんな輝いてました。